講座タイトル	この講座でできるようになること（ベネフィット）	ワーク・配布物
第1章 選ばれ続ける教室の土台	自分の教室が「何を作る場所」ではなく、「生徒さんがどう変われる場所」なのかを明確にできます。ほかの教室との違いや、自分の教室が選ばれる理由を説明できるようになります。	教室の現状振り返りシート
第2章 生徒さんが上達するレッスン設計	レッスンのゴールから逆算し、説明・デモンストレーション・実習・振り返りを、生徒さんが理解しやすい順番に組み立てられるようになります。内容を詰め込むのではなく、生徒さんが上達を実感できるレッスンをつくれます。	生徒さんのゴール設定ワーク
第3章 「またこの先生から習いたい」と思われるコミュニケーション	生徒さん一人ひとりの経験や気持ちに合わせた声かけができるようになります。質問や失敗を怖がらずに挑戦でき、「きちんと見てもらえた」「またこの先生から習いたい」と感じてもらえるレッスンをつくれます。	生徒さんのタイプ別声かけワーク
第4章 先生の感覚を生徒さんに伝える「言語化メソッド」	「このくらい」「もう少し」「よい状態」といった先生の感覚を、生徒さんが理解できる言葉に変えられます。作業の目的、見る場所、触った感覚、次へ進む判断基準まで具体的に説明できるようになります。	説明の見直しチェックリスト
第5章 経験値の違いに対応するレッスン進行術	初心者と経験者が一緒に参加しても、それぞれの理解度や作業スピードに配慮しながら、全員を置いていくことなく、時間内に同じゴールまで進められるようになります。先生にも余裕が生まれ、一人ひとりの様子を見ながら対応できます。	経験値の違いに応じた対応シート
第6章 失敗を成長につなげるフィードバック	正解を一方的に教えるのではなく、生徒さん自身が失敗の原因に気づき、次に生かせるフィードバックができるようになります。自信を失わせず、「次はできそう」という意欲を育てられます。	フィードバック実践シート 伝え方の言い換え事例集

第7章 生徒さんが家で再現できるレッスン設計	教室の設備や先生の手直しがなくても、生徒さんが自宅で考え、判断しながらパンを作れるレッスンを設計できます。「教室ではできたのに、家では作れない」を減らし、本当の上達を実感してもらえます。	生徒さんが迷うポイント発見ワーク 教室と家庭環境の違い確認シート
第8章 満足をリピートにつなげる仕組み	次のレッスンを売り込むのではなく、生徒さんが自分から「もっと学びたい」「次も参加したい」と思える学びの流れをつくれます。毎月の新規集客だけに頼らない教室を目指せます。	終了時の振り返りシート
第9章 利益が残る価格と教室設計	材料費だけでなく、準備・片づけ・連絡・レシピ開発・これまで積み上げてきた技術や経験まで含めて、レッスンの価値と価格を考えられるようになります。単発レッスンでも、開催するたびにきちんと利益が残り、無理なく続けられる教室を設計できます。	価格・利益設計シート